

愛媛県松山市で保護されたシロアジサシ *Gygis alba* の記録

前田 洋一* 山本 貴仁**

Record of the White Tern *Gygis alba* from Matsuyama City Ehime Prefecture.
Youichi MAEDA* & Takahito YAMAMOTO**

I はじめに

シロアジサシ *Gygis alba* は、亜熱帯および熱帯の海域で広く繁殖し、日本へは稀な迷鳥として渡来する(高野, 1981)。四国における本種の記録は、日本鳥学会(1977)に「四国」と記述のあるものの、その記録の詳細については明らかではない。

著者らは、1997年9月17日、愛媛県松山市にて保護され、愛媛県立とべ動物園に収容されたシロアジサシを確認する機会を得たので報告する。

II 保護の状況及び記録

本個体は、1997年9月17日、午前5:00頃、松山市枝松5丁目の歩道植え込み内の低木に、引っ掛かっていると木本キヨミ氏に保護された。同日、愛媛県立とべ動物園に収容されたが、外傷、骨折はないものの衰弱がひどく、自力で移動できない状態であった。収容後、保温し様子を見ることにしたが、翌日の9月18日に死亡が確認された。

9月16日午前中に九州南部に上陸した台風19号が、17日深夜にかけて瀬戸内海を通過しており、その影響で迷行したものと考えられる。本個体の他に、セグロアジサシ *Sterna fuscata* とシロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca* 各1個体が同日、松山市内で保護され、愛媛県立とべ動物園に収容されている。

本種の若鳥には目の後方に褐色斑があり、翼下面が灰色であることが特徴とされる(尾崎, 1998)。本個体は、これらの特徴が見られないことから成鳥と思われる。また、保護した時には、嘴基部が青色であったが死後変色した。計測は死亡後に行い、剥製製作時に精巣が確認された。

なお、本個体は剥製標本として愛媛県立とべ動物園に保管されている。

III 計測値

性別♂, 全長269mm, 翼長224mm, 尾長106mm, ふ蹠長11.4mm, 嘴峰長37.6mm, 体重54.54g.

謝辞

本報告にあたり、森林総合研究所鳥獣管理研究室長の川路則友氏には文献を提供いただいた。また、森林総合研究所四国支所の佐藤重穂氏には、助言をいただくとともに、文献を探す上でお世話になった。記して御礼を申し上げます。

参考文献

- 日本鳥学会目録編集委員会(1997):「日本産鳥類リスト」.
Jpn.J.Ornithol.46(1),59-91.
高野伸二(1981):「日本産鳥類図鑑」. 東海大学出版
会, 東京.
日本鳥学会(1974):「日本鳥類目録第5版」. 学習研
究社, 東京.
尾崎清明(1996):シロアジサシ. 「日本動物大百科
鳥類I」. 平凡社, 東京. 124p.

*愛媛県立とべ動物園 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

Tobe Zoological Park of Ehime Pref

**愛媛県総合科学博物館 学芸課 自然研究科

Dept. of Natural history Ehime Pref. Science Museum



写真1 1997年9月17日、愛媛県松山市で保護され、翌日落鳥したシロアジサシ。

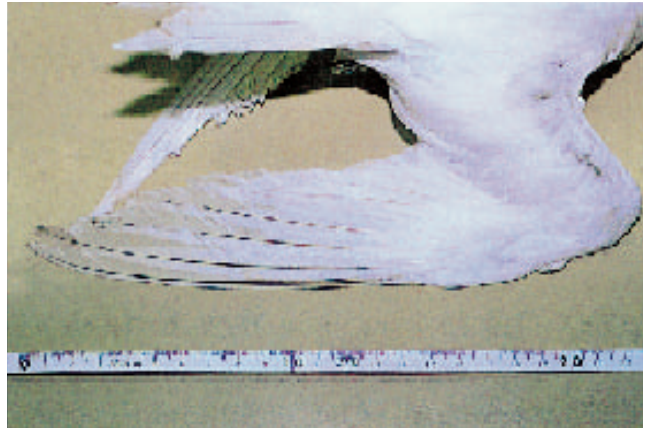


写真3 右翼

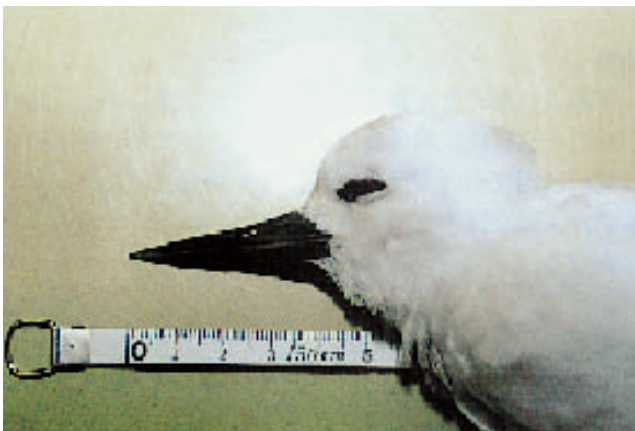


写真2 死亡後、嘴基部の青色は変色した。



写真4 尾羽